

子どもたちが感じたこと



唐丹中学校 3年
鈴木 琳雅さん

私たちが住んでいる唐丹は、交通の便が悪い・地域の清掃活動にしてもゴミの量が減らない・街灯が少ないため、地域が暗いなど不便に感じることがいくつかあります。自然が豊かで友達と楽しく遊べる地域ですが、車がないと移動が大変な場面も多く、親に送迎を頼んだり、電車の時間を計算したりする必要があります。そこで、釜石がさらに安心して暮らせるまちになるように、地区の人口によって生活応援センターの配置数を検討することや釣り場にごみ箱を設置することについて質問しました。

当日はとても緊張しましたが、市役所の人の話を聞いて、自分たちが知らなかった取り組みを知ることができました。次に参加する機会があれば、安心して暮らせるまちにつながるよう積極的に意見を伝えていきたいです。



大平中学校 3年
菊地 新奈さん

市全体を見たとき、福祉の分野で予算が足りていなかったり、福祉の取り組みに参加する若者が少なかったりする現状が気になり、私たちにできることはないかと考えました。市としてできる取り組みがあれば提案してみたいと思っていましたが、実際に発言するのはとても緊張しました。普段はなかなか市役所の人に直接、自分の考えや意見を伝える機会がないので、貴重な経験になりました。自分の発言がきっかけで、地域がより良くなればうれしいなという期待もあります。

今回、市役所の人の話を聞いて、大人の事情でできないことがあることや、世の中は思っているほど簡単には変わらないという現実も知りました。それでも、次にこの場に立つことがあれば、より積極的に意見を伝え、地域がより良くなるよう発言していきたいです。



特集

中学生が市に質問・提案

未来をつくる声。今ここから。

各中学校代表者
釜石中 岡本あいるさん、白野 真心さん
甲子中 松田 翔希さん、白石 恋菜さん
釜石東中 佐々木 一真さん、千葉 心菜さん
唐丹中 鈴木 琳雅さん、齊藤 瑛斗さん
大平中 菊地 新奈さん、三浦 孝太郎さん

11月7日、「令和7年度かまいし絆議会」が開催され、市内5つの中学校から代表者2人が議会活動を体験しました。

かまいし絆議会は、将来を担う子どもたちの市政に対する意見・要望などをまちづくりを生かすとともに、市政の仕組みや議会の活動への関心を高め、地域をより良くしようとする意識を育むために実施しています。

各中学校の代表生徒10人は、小中学校でまちづくりについて議論するかまいし絆会議で話し合い、自分の住む釜石を改めて見つめ、調べ、考えました。そして当日、順番に質問台に立ち、日々の暮らしの中で感じる市政への疑問や課題について堂々と質問や提案を述べました。

子ども議会に密着!!



考えてきたことを一人ずつ質問

みんなで相談

はい！議長！

記念撮影